
神様と悪魔さま

相馬正

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

神様と悪魔さま

【Nコード】

N9132Y

【作者名】

相馬正

【あらすじ】

教会に暮らすエンティ・ティーは、そこで生活する当たり前のことに疑問を抱く。“神様”って本当にいるの？そこから彼女の生活は大きく変わる。悪魔の力を頼る彼女を待ち受けていたものは…。

R15は念の為です。火曜・金曜7時更新の全4話（15部予定）です。

第一話 悪魔さま誕生

ここは町はずれにある静かな森に囲まれた小さな小さな教会。

—ここが私の家—

「こらトロン！ 顔を洗いなさい！」

いたずらっ子のトロンが、また神父様に叱られてる。

しかも神父様にがんじがらめにされて顔まで真っ赤だ。ジタバタしてみつともない。

そのトロンがこっちを見て私を指差した。

「エ、エンティーだって洗ってないよ！」

な！！ このクソガキ！

「トロン！ アンタ何言ってるのよ！」

まさかのお鉢が回ってきた。

ゆっくりとこちらを向く神父様。

「それは本当かい？ エンティー」

低く渋い声が私を問いたです。

ここは教会、嘘をつくことは許されない。しかも、この教会で唯一

大人の神父様は、大人ってことを差し引いても背が高く体格もいい。その姿で詰め寄る様は鬼神のようだ。そして…これまで誰も逆らったことはない。

「は…はい」

く…、このまま屈服して顔を洗うの？ 本当にそれでいいの“エンティ・ティー”！洗面台ではトロンが観念して顔を洗っている。なんて惨めな姿。いやっ、あり得ない！ あり得ないわ！ 今二月よ！

顔を洗い終わった他の子達は、とつくに食堂に移動していた。楽しい朝食を前に、私達の悲劇に気付く子は一人もいない。

「さあ、次はエンティの番だよ」

神父様がニツコリと私に微笑みかける。長身でイケメンという容姿に不釣り合いな“あごヒゲ”の両脇が上がる。既におじい様の域に入ろうかというのに、このスマイルがミサにくる淑女達を癒している。

く…カッコいい神父なんてズルいつ、反則だ。負けちゃ駄目エンティー、“いやだ”って言うのよ…。

「さあ」

「う…るっさい…！」

瞬間、場が凍りついた。

あの神父様に歯向かってしまった…。

トロンの顔が驚きのあまりとんでもなく不細工になっている。イケ

メンの神父様でさえ、呆氣にとられ口が半開きになっている。

「エンティー、顔を洗いなさい！」

「い、いやだ！ お水冷たい」

顔を洗うことくらいなんでもない…、トロンのやつが“ちくつた”のは許せないけど、それでも神父様に逆らうなんていつもの私だったら絶対にしない…。

この小さな反抗は、ほんのキツカケにすぎないのかもしれない。

「じゃ、じゃあ神父様のおヒゲはー？ 伸ばしちゃって不潔ー」

私は思ってもいないことを口にした。本当はそのヒゲもカッコいいと思っているのに。

「毎日洗っている」

「剃ればいいじゃん」

「刃物は使えないのだよ」

「どうしてー？」

「私は神に仕える身だからだよ」

「…」

なんでこんなバカげた抵抗をしたのか、それがこの誘導尋問の為だと判った。

トロンがハラハラした顔で私達を交互に見つめる。

そうそう、コイツへの仕返しも考えておかないとね。まあ、お楽しみは後に取っておくとして…、それより今は、これから言わんとすることを頭の中で整理しておかないと。この機会を逃したら二度と言えないかもしれない。

でも、それを口にするのはとてもためらわれ、自然と口も重くなる。

本当なら素直に顔を洗えばいい…、反抗したことも謝ればいい…、そういつたいつもの自分を全て呑み込んだ…。

―決意を胸に口を開く、それは禁じられた言葉―

「ねえ神父様、“神様”って…本当にいるの？」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9132y/>

神様と悪魔さま

2011年12月2日07時47分発行